



「江戸のジャーナリスト 葛飾北斎」は、北斎が出会った人、描いた絵などを詳しく書いた本である。魅力は、家族とその暮らしぶり、そしていくつもの章に分かれて書かれているところだ。

北斎の子供も絵が描けるなど、北斎に似ている所があったり、北斎と子供が似ている所を探す事も良い。北斎が出会う人の多くは、江戸時代の有名な絵師である。そして北斎は、実力も知名度もあるが、なぜ貧乏だったのか想像して読んでみるとより面白く読める。本の内容だけではなく「章」にも注目して欲しい。それぞれの章でサブタイトルのような形で、細かな題が書かれている。サブタイトルをみると、どこに着眼して読めば良いのかが一目で分かる。そして、一つ一つ章が変わることに、小さな絵が描かれている所も印象的だ。

さて、この本の章に描いてあるのはどのような絵だろうか？北斎と北斎の子供が似ている所とは？と、考えたり、更に想像を膨らませて読んでいければこの本を楽しく読める。

一つ一つ疑問を持ちつつ読んでみて欲しい。